

## 遊びの指導 学習指導案（略案）

令和2年12月18日 金曜日 10:15～11:00 場所：幼稚部

幼稚部1人・1年生3人 計4人

指導者 CT：仲尾次智枝 ST：高村知子 下地蘭

### 【育てたい資質・能力】

- ・人と関わりながら工夫して遊ぶ力
- ・発想を取り入れて遊ぶ力

### 【育っている資質・能力】

- ・教師や友達を意識して同じ場所で活動したり一緒に遊んだりすることができる。
- ・教師や友達を真似て活動したり素材から発想して遊んだりすることができる。

#### 1. 単元名「小麦粉遊びをしよう」

#### 2. 単元の観点別目標（評価規準）

- (1) 水の有無による小麦粉の感触や、食紅を加えた色の変化に気づいたり自分から触れたりすることができる。【知・技】
- (2) 小麦粉を使って自由に発想しながら遊ぶことができる。【思・判・表】
- (3) 小麦遊びを通して教師や友達と関わりながら遊びを楽しむ。【主】

#### 3. 学習計画と評価計画

次	時	主な学習活動	評価の観点		
			知・技	思・判・表	主体的
一	2	教師や友達と一緒にさらさらした感触の小麦粉で遊ぼう。	○	◎	◎
	2	教師や友達と一緒に水や食紅を加えた小麦粉で遊ぼう。	○	◎	◎
二	3	教師や友達と一緒に様々な感触の小麦粉で遊ぼう。 小麦粉で遊びながら飾りつけをしよう。	○	◎	◎

#### 4. 単元の個別目標

観点 氏名	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
幼稚部 A	・様々な感触の小麦粉遊びを経験することができる。	・小麦粉や道具を使って自分が楽しめる遊びを見つけることができる。	・教師や友達に自ら関わりながら小麦粉遊びを楽しむことができる。
1年 B	・小麦粉を自分の好きな感触にすることができる。	・様々な道具の中から、好きな物を選び、それを使った小麦粉遊びを考えることができる。	・自ら素材に手を伸ばし、教師と関わりながら遊びを楽しむことができる。

1年 C	・好きな小麦粉の感触を中心に遊びを楽しむことができる。	・友達の活動を真似るなどして好きな遊び方を見つけることができる。	・自ら素材に手を伸ばし、教師や友達と関わりながら遊びを楽しむことができる。
1年 D	・小麦粉を自分の好きな感触にすることができる。	・道具や食紅の色を選び、それを使った小麦粉遊びを考えることができる。	・自ら素材に手を伸ばし、教師の促しを受けて友達と関わりながら遊びを楽しむことができる。

## 5. 本時の学習（二次の3時）

### (1) 本時の目標

- ①好きな小麦粉遊びを深める。【思・判・表】【主】
- ②気に入った1つの遊びをみんなで遊び尽くすことができる。【思・判・表】【主】
- ③遊びながらみんなで1つの作品を作ることができる。【思・判・表】【主】

### (2) 本時の展開

	学習活動	評価の観点	教師の指導及び支援及び配慮事項	備考
導入 5分	1. 集合	【主】	・空の小麦粉の袋をブルーシートの中央に置き、幼児児童の興味を引くようにする。	・小麦粉の袋
	2. 活動内容と約束の確認	【思・判・表】	・実物を見せながらブルーシートの上で小麦粉遊びをすること、友達の顔にかけないことを確認する。	
展開 35分	3. 小麦粉で遊ぼう		※活動内容の順序は固定せず、幼児児童の動きによって変える。	・小麦粉
	○さらさらの小麦粉で遊ぼう ・小麦粉を体にかける ・上から落とす等	【主】 【思・判・表】	・友達と関わりながら遊べるように最初は1つのたらいに小麦粉を入れる。	・たらい ・ざる ・ボール
	○水を入れてみよう ・手や道具を使って混ぜる ・体やブルーシートにつける等	【知・技】 【思・判・表】 【主】	・一定時間遊んだら少量の水を入れたペットボトルを見える位置に置くことで、幼児児童が自分から水に手を伸ばせるようにする。 ・幼児児童の自由な発想を引き出すために近くにいろいろな用具を置き、教師も一緒に遊ぶ。	・水 ・泡だて器等の用具
○食紅を入れてみよう ・体につける ・容器に入れる ・型抜きをする	【知・技】 【思・判・表】 【主】	・自由な発想で遊んでいる幼児児童がいる場合、みんなに紹介する。 ・一人で活動している幼児児童がいる場合、さらさらの粉や水を手渡したりしてできるだけ輪の中で活動できるように誘いかける。	・食紅 ・飾りのパーツ	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水を加える等</li> </ul> <p>○遊びながら段ボールの土台に飾りつけをしよう</p>	<p>【思・判・表】</p> <p>【主】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一度遊びを止めて注目させ、前時の作品を見せながら小麦粉や飾りをつける手本を見せる。</li> <li>・みんなで活動できるように前時の作品を幼児児童の位置によって移動させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の作品</li> <li>・飾り</li> </ul>
まとめ5分	<p>4. 飾りつけをした作品を見よう</p> <p>5. 片づけをする順番にシャワーに入る</p>	<p>【思・判・表】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飾りつけをした作品を見せ、遊びながらみんなで1つの作品を作ったことに気づかせる。</li> <li>・活動終了時間が近づくとSTは用具や粉を少しずつ減らし幼児児童がスムーズに遊びを終えることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飾りつけをした作品</li> </ul>